

2022年7月27日

## GProE3-4年次「交換留学」に向けての履修上のQ&A

GProE 運営委員会

### Q1 留学先でどのような授業を履修すればよいのでしょうか？

まず、GProE というプログラムの基本に立ち返って考えましょう。「GProE は、新段階のグローバル化がマクロ経済・産業・企業の各レベルでもたらす複合的な諸問題を、経済学や経営学のツールを用いて深く理解し、グローバル・マインドをもってその解決策を提言できる次世代人材育成のためのプログラム」です。従って、そのカリキュラムは、「グローバル化がもたらす新しい諸問題を正しく把握し、その解決に向けて挑戦することが出来る人材」（九州大学経済学部規則第2条の2より）育成を目的に編成されています。

経済学や経営学関連の授業のみならず、グローバル・マインドの涵養、英語のみならず多様な現地言語の習得のための科目など、上記趣旨に沿った科目を履修してください。当該開講科目が、留学先の経済学部や経営学部の科目でなくても構いません。

### Q2 現地での履修科目登録時に留意すべきことは？

まず、GProE カリキュラムの【GProE 国際交流科目Ⅱ＝交換留学（半期留学4単位必修、7ヶ月以上の留学6単位必修）】について、いま一度確認しましょう。この科目は「3年次の第2クォーター以降4年次終了時までの何れかの時期に、2-4クォーターの期間で交換留学を行い、留学期間の学修成果」をGProE 修了のための単位化するもので、最大30単位まで認定が可能です(GProE パンフレットより)。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>(1) <b>単位読替</b>：留学先で履修した科目の経済学部の専門科目(未履修)への読み替え。</li><li>(2) <b>グローバル特論</b>：留学先で履修した科目に対応する経済学部専門科目が無い場合または当該科目を本学で履修済みである場合、グローバル特論科目として認定。</li><li>(3) <b>クロスボーダー特別演習</b>：留学期間中に演習科目の指導教員が各種メディアや現地面談等を通じて定期的に指導。</li></ol> |
|---|

GProE の基本的な考え方としては、先ず(1)の単位読替が可能な科目を取得することを目指して欲しいです。帰国後に読替が実現すれば、GProE 修了単位のみならず、経済学部の卒業単位にもカウントできます。ただしそれだけでは単位が不足する可能性があるため、その場合には(2)の認定を目指してください。さらに、留学先の国の教育制度がゆえにそれぞれのタームで履修できる科目数が極端に少なかったり、事情により(1)(2)で十分な単位が取得できそうになかったりした場合には、(3)で2単位を取得することが可能です。

なお「単位読替」「グローバル特論」「クロスボーダー特別演習」の履修登録と単位認定は、帰国時に一括して行います。詳細は、「Q4 留学終了後の単位認定手続きについて教えてください」をご参照ください。

### Q3 クロスボーダー特別演習の履修方法は？

ゼミの指導教員と相談のうえで、以下の指導を受けてください。演習科目への出席が求められますので、時差などにも予め注意をしてください。

- ① **現地での履修登録時**：九大経済のカリキュラムマップに照らして適切な履修科目の指導を受ける。
- ② **留学期間中**：「クロスボーダー特別演習」として、経済学部で開講されている経済・経営学演習もしくは経済工学演習にオンラインで出席（クロスボーダー特別演習として単位認定を行う場合には、経済・経営学演習もしくは経済工学演習としては単位認定しない）。また月1度は演習の前後に個別面談をオンラインで行い、現地での修学状況の確認や指導を受ける（教員が現地訪問する場合は、まとめて3時間程度面談を実施）。
- ③ **現地での定期試験前**：準備状況などを報告の後、必要に応じて指導を受ける。  
※本科目の単位認定は、単位読替・グローバル特論と同様に、帰国時に一括して行う。

### Q4 留学終了後の単位認定手続きについて教えてください

留学が終わり、留学先の大学から成績証明書が取得できたら、当該履修科目の授業内容がわかるシラバスを添えて、学務課経済担当に「留学先大学での修得授業科目報告書」（学務課に定型書式有）を提出してください。リストに沿って、経済学部教務委員会にて「単位読替」「グローバル特論」「クロスボーダー特別演習」の単位認定手続きを行います。

### Q5 交換留学が実現した場合、既に履修している代替科目の扱いはどうなりますか？

「代替科目」は、2021年度と2022年度にコロナ禍対応で留学を断念せざるを得なくなったGProE生が、プログラムを修了できるよう臨時に開講されたものです。従って、交換留学が実現した場合には、「GProE 国際交流科目Ⅱ：交換留学」の代替科目とはみなされず、選択必修科目または自由選択科目としてカウントされます。

### Q6 「内外混在少人数演習」を履修していますが、留学にあたって何か注意すべきことはありますか？

GProEの1-3期生は当該科目が4単位必修科目となっています。例えば3年次前期に履修し、1年留学して帰国後の4年次後期に履修を続けた場合、全ての履修修了時にまとめて4単位を認定します。各学期においてCampusmateで履修登録をしてください。

**Q7 Topics in Global Economy (1 単位必修)は、留学中に履修できますか？**

コロナ禍による制限がかかっていない場合でも、オンラインで実施される可能性があります。基本的には、留学前後に対面で履修してください。その時期での対面での履修がかなわない場合、授業担当教員に相談してください。

**Q8 グローバル経済特別講義 (1 単位必修)は、留学中に履修できますか？**

コロナ禍による制限がかかっていない場合、原則対面で実施されます。ですので、留学前後に対面で履修してください。その時期での対面での履修がかなわない場合、授業担当教員に相談してください。

**Q9 留学にあたって3-4 年次「経済・経営学演習」「経済工学演習」等のゼミの登録をどうすればよいですか？**

留学を希望する学生は、ゼミを申し込む際に、「演習科目受講願」を提出することになっています（演習募集要項 P2「f.高年次で留学を希望する場合」参照）。その上で、留学に行くことが決まり「海外留学に伴う特別措置願」が提出されましたら、学務課で指導教員に確認の上、履修登録の修正を行います。通年ではなく半期で 4 単位を認定する必要があるため、追加レポートの提出等が求められる場合があります。